



学校便り 琢磨

令和4年度 第7号 R4.6.10 三豊市立詫間小学校

栄光を讀える！

5月28日(土)、高松市屋島のレクザムフィールドで行われました「第38回全国小学生陸上競技交流大会 香川県第1次予選1回目」の入賞者を紹介します。なお、表彰は、6月8日に放送にて行いました。敬称は略します。おめでとうございます。

【共通男女混合4×100mリレー】

第8位 詫間小Aチーム 松田 歩実、渡辺 恵二、林本 紗空、曾根 碧人 記録58秒39

日曜参観がありました！

6月5日(日)、本年度初めての授業参観がありました。しかも、日曜参観ということで、たくさんの方の保護者の方がお子様の授業の様子を見に来られました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、奇数学年と偶数学年の参観時間を分けて、しかも45分の授業を前半と後半に分けた分散での参観でした。保護者の皆様には、制限された中での参観をお願いし、ご不便をおかけしましたが、皆様にご理解とご協力をいただき深く感謝申し上げます。

今年度初めての授業参観はいかがでしたか？



緑の募金、ご協力ありがとうございました！

6月5日の日曜参観の時に、「緑の募金活動」を実施しました。園芸飼育委員の皆さんも休み時間には募金活動をしてくださいました。

普段は、学校にお金を持ってきていて紛失してはいけないので、ほとんど募金活動は行っていませんが、この日は参観日ということで、保護者の皆様はもちろんのこと、保護者の方と一緒に子どもたちも募金をしてくださいました。本当にありがとうございました。

昨日(6/9)、園芸飼育委員さんが校長室で募金の集計をしてくださいました。何と、総額で、

16,163円でした。

さっそく「かがわ水と緑の財団」にお渡しします。

ご協力ありがとうございました。委員会の皆さん。募金活動や集計のお仕事、ありがとうございました。



水泳が始まりました！

6月7日（火）。プール開きがありました。気温・水温共にあまり高くはなかったのですが、何とか実施することができました。本年度も、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全校生がプールに集まることなく、学年ごとに行いました。都合で、翌日が初めての水泳という学年もありました。私は、出張のためプール開きに参加することはできませんでしたが、写真を見て、楽しそうに水とふれあう姿にうれしくなりました。

水泳は、1学期末の7月20日まで行います。事故がないよう、一人一人の目標に向かって泳力を伸ばしてくださいね。



真鍋校長の独り言 その4

泳ぐのが苦手だった私

本校でも水泳が始まりました。「水、大好き!」、「プール大好き!」、「泳ぎ得意!」という子どもたちも多いことでしょう。

実は、私は「水は大好きだけど、泳ぎはあまり得意ではない!」という子どもでした。特に苦手だったのは、「息継ぎ」です。先生に教わっても「息を水中ではいて、顔が水面に出たらパッと残りの息をはいて・・・」というのが頭では理解できても、実際やってみると、息が入ってこなかったり、水中で息を吸ってしまって大変なことになったりしました。ですから、途中から息継ぎをあきらめたわけです。息継ぎをあきらめても水の中に潜ったり、泳いだりするのは好きでした。ですから、けのびや石拾いは得意中の得意で、12mくらいの競争は、息継ぎをしなくていいので、いつも1番か2番でした。ところが、何メートル泳ぐことができるのかという「泳力測定」が嫌で、嫌でたまりませんでした。25mを泳ぎ切って喜んでいる友達をうらやましく思っていました。せいぜいプールの真ん中くらいまでいけたらいいほうでした。

実は、息継ぎができないのが恥ずかしくて、息継ぎをしているまねをしていたのです。ですから友達や先生から「何でそこでやめるの?」と不思議がられていたのです。

小学校6年生になって、泳ぐのだけは速くなって、25mならノーブレス（息継ぎなし）で泳ぐことができるようになりました。息継ぎは格好だけです。さすがに25mのターンで息をしても折り返して50mは絶対に無理ですので、水泳の選手にはなれませんでした。

恥ずかしながら、完全に息継ぎができるようになったのは、教員になってからです。子どもたちに息継ぎを教えながら、自分もできるようになったのです。もともと泳ぎだけはできましたので、息継ぎをマスターすれば何百mも泳ぐことができました。それが23歳の頃のことです。22歳までは、恥ずかしながら25mが限界でした。

今思えば、素直に、できるようになるまで友達や先生に教えてもらっていたら、こんなに苦労はしなかったのだと思います。もしかしたら、水泳大会にも出場できたのかもしれない。でも、その時は、恥ずかしくて「息継ぎができないから、やり方を教えて。」と、どうしても言えなかったのです。「聞くは一時の恥 聞かぬは一生の恥」という言葉が身にしみます。こんな言葉があるくらいですから、私と同じような経験（恥ずかしくて聞けなくて、かえって長い間、恥ずかしい思いを引きずってしまった経験）をした人も多いのかも知れませんね。